

旬の味覚を楽しむ

保育所・サンマの日

10月20日、上ノ国保育所で児童たちが旬の味を楽しみながら食の大切さを学ぶため「サンマの日」と題して、焼きたてのサンマが振る舞われました。

サンマは当日朝にショッピングこぼやしから届けられ、児童たちはまず、生のサンマに触れ、次に目の前で焼かれていく姿を見て、手触りや火の熱さ、油の焼ける匂いを子どもながらの感性で楽しんでいました。

食べるときには、骨や内臓をフォークや箸で苦労しながら取り除き、秋の味覚を満喫しました。



ワイナリー＆サテライトオフィスに 鈴木直道知事が訪問

10月18日、湯ノ岱の上ノ国ワイナリーに鈴木直道北海道知事が訪問し、サテライトオフィスなど施設の視察とワイナリー関係者を交えた懇談を行いました。

鈴木知事は、視察の際に廃校を再利用している点に着目し「温かみを感じる」と話しました。また、懇談では「素晴らしい施設なので積極的に発信し、上ノ国町のファアンを増やしてほしい」と話し、懇談後はサテライトオフィスの設備を利用し、オンライン会議に出席。出席者へ上ノ国町からの参加であることを説明していました。

檜山地区で初開催

里親講演会

10月14日、ジョイ・じよぐらにて函館地区里親会主催の里親講演会が檜山地区で初めて開催され、近隣町からも参加者が集まり里親制度について耳を傾けました。

里親発表では、上ノ国町で里親をしている高谷さんが「里親が周囲に受け入れてもらえるか不安だったが、地域の方々から温かく接していただき嬉しかった」と話しました。

参加者からは「里親にも養子縁組以外の種類があるなんて知らなかった」など、参加して良かったという声が聞かれました。



多くの人に愛される味へ 上ノ国ワインまつり

10月31日、上ノ国ワイナリーにて上ノ国ワインまつりが開催され、町内外から約150人が訪れました。

交流会では、様々な料理に合わせて町内産のロゼスパークリングワインと白ワインに舌鼓を打ちました。また、施設の見学やイタリアからきた醸造家とのパネルディスカッションなどが企画され、訪れた人々は町産ワインの魅力を感じていました。

湯ノ岱出身の中橋さんは「なじみの施設が大きく変わってびっくりした。町を知ってもらうきっかけに良い」と話していました。